

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (13 — 8)

団体名	(特非)ハッピーキッズひがし	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 九鬼 由佳
事業名	『親子で楽しく体験活動』『代休日・長期休み・児童居場所作り＆健全育成』支援事業		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎○曜日」等 で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
5月27日	ひがし交流センター	37 (6)	代休日遊べるデー ・卓球やボードゲーム、鬼ごっこ等自由遊び ・給食提供 調理師宮中真智子/栄養士藤原麻美子
6月18日・7月9日	ひがし交流センター	32 (4)	親子リトミック ・音楽に合わせて、身体を動かそう ・リトミック講師 寺田有英
奇数月第1木曜日 (4回実施)	ひがし交流センター	141 (36)	親子リズム体操＆お話会(社協共催) ・親子リズム体操 講師 福永摩耶 ・お話会: 大型絵本・ペープサートなど
7月25日・30日 8月6日・8日	ひがし交流センター	24 (10)	夏休みプログラム ・読書感想文・生活作文を書こう(4回) 指導 九鬼由佳
7月29日	ひがし交流センター	8 (2)	夏休みプログラム ・料理教室『冷麺&ちぢみ&杏仁豆腐』 講師 調理師 宮中真智子
8月1日	ひがし交流センター	26 (3)	夏休みプログラム ・『夏祭りデー』スーパーボールすくい・折り紙釣り、恐竜たたき等 準備・店番をし、幼児親子を招待
8月20日	ひがし交流センター	8 (2)	夏休みプログラム ・料理教室『ライスペーパーでスナック作り』 講師 假屋和子
9月19日	兵庫県立こども館(円形劇場)	46 (5)	講演会(兵庫県地域活動連絡協議会 共催) 『小児科医からのアドバイス』～マジックを交えながら 山田こどもクリニック院長 山田一仁
10月9日	姫路市立東光児童センター	30 (2)	わらべ歌遊び ・未就園児親子とわらべ歌遊び 九鬼由佳
11月13日	ひがし交流センター	48 (8)	人形劇とふれあい遊び(シニアさんと交流) ・ブラックシアター『スイミー』・楽器遊び等 北児童センター地域組織活動クラブ スマイルママ
11月25日	ひがし交流センター	29 (6)	代休日遊べるデー ・オセロ・紙飛行機大会や鬼ごっこ等自由遊び ・給食提供 調理師宮中真智子/栄養士藤原麻美子
2月7日	ひがし交流センター	37 (2)	音楽遊び(東光児童センター地域組織活動クラブ共催)音楽とふれあい遊び・大型絵本など ・子育て支援団体 ほのぼのさん

< 効果と成果 >

小児科医の講演会では、星の子館や姫路市の各児童センター、保健センター等広報範囲を拡げ、チラシ配布と共に、当団体のHPやFacebook、Instagramでも情報を流した。幼児の親子さんだけでなく、小学生・中学生の親御さん、お祖母ちゃん世代の参加もあり、医学的な話だけでなく、精神面や長い目で見た育児についての話をマジックを交えて楽しく聞くことができ、考える機会となった。

親子リズム体操＆お話会でも、内容を充実させ、活動内容を分かりやすく範囲を拡げて広報したところ参加者も増えて活発になり、スタッフと保護者、また保護者同士の交流も深まっているようだ。

代休日遊べるデーは、QRコードから申込できるので、曜日や時間に関係なく申込でき、働く保護者に喜ばれた。給食付きで、異年齢と一緒に、電子機器以外で遊ぶ、今の子供には大切な時間・空間となった。

人形劇では、幼児連れ親子だけでなくシニアさんも招待し、楽器遊びの時に幼児がシニアさんの楽器を集めるなど交流を図った。シニアさんも大変喜ばれ、また、幼児さんにとっても貴重な体験となった。

< 今後の展望 >

今回の公告方法としては、チラシ配布の他、HPやFacebook、一部Instagramも活用した。しかし、情報入手先は、児童センターやすこやかセンターやひがし交流センターでのちらし、そこを利用する友達から誘われたというのが多数派であった。Facebook、HPだけでなく、Instagramももっと活用する必要がある。

代休日遊べるデーは、実施場所が東小学校区のためか、城東小学校児童の利用は少なかった。

申込方法としては、小学生向けのイベントは、QRコードからの申込が時間に制約もされず手軽で良かったようだが、フォームのわかりにくい部分もあったため、兄弟2人の申し込みが1人分しか申込されず、当日2人来られて戸惑うことがあった。わかりやすい・間違いの少ないフォーム作りが重要だと思った。

いろんな行事をするにあたり、参加者からの参加費を抑えているので、助成金がないと実施できない。継続して事業を行うためには、他の財源を見つけることが最大の課題である。また、チラシの配布もボランティア・プラザの名前なしでは、学校でももらえないので、公的な団体の後援・共催が必要である。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	3 5 0 , 0 0 0
自己資金等	8 6 , 2 5 8
合 計	4 3 6 , 2 5 8

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	謝金	9 0 , 0 0 0	9 0 , 0 0 0
	スタッフ	1 5 7 , 7 7 5	1 1 4 , 0 0 0
	使用料	5 6 , 4 0 0	4 0 , 0 0 0
	その他(食材費等)	5 6 , 5 2 7	3 1 , 0 0 0
	小 計	3 6 0 , 7 0 2	2 7 5 , 0 0 0
間接経費(一般管理費)		7 5 , 5 5 6	7 5 , 0 0 0
合 計		4 3 6 , 2 5 8	3 5 0 , 0 0 0